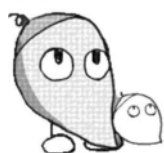
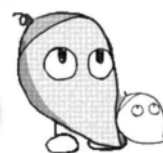


とんがらし通信

一目千本桜を見に電車で♪



No.233



～主な内容～

- ・施設長コラム ・新職員紹介、異動職員紹介
- ・H29 年度フォトコンテスト
- ・活動報告（本格フレンチ In 岩沼、るーぷる仙
台の旅、感覚ミュージアム、お花見）
- ・コンサート ・Close-up！
- ・職員コラム ほか

仙 台 つ ど い の 家 編 集 室

発 行 責 任 者 山 口 収

発 行 日 2 0 1 8 年 5 月 2 5 日

〒983-0836 仙台市宮城野区幸町3丁目12-16

Tel 022(293)3751 Fax 022(293)3752

E-mail sendai@tsudoinoie.or.jp

ホームページ <http://www.tsudoinoie.or.jp>



『親亡き後』を考える の巻

全くの私事ですが、先月父を亡くしました。2月にインフルエンザ肺炎で救急搬送されて入院し、あれよあれよという間に状態が悪くなりました。2週間後には要介護5と認定され、それからわずか1ヶ月ほどで呆気なく逝ってしまいました。78歳、日本人男性の平均寿命すれすれの極めて平凡な人生の閉じ方でした。私がそうであったように、多くの方たちはつい今しがたまで健康で元気に過ごしていた親が突然いなくなるなんて想像もしていないと思います。同様に親の側も子どもを置いて逝ってしまうことを日常的に想像している方は少ないのではないのでしょうか。

けやきグループの高橋智子さんは、一昨年の夏にお母さんを突然亡くしました。お父さんは名古屋に単身赴任中、二人の弟さんも実家を出て県外で生活されていたので、お母さんと二人で自宅マンションに暮らしていました。毎年夏には1か月ほど通所をお休みして、お母さんと一緒にお父さんの単身赴任先で過ごすのを楽しみにしていました。その年も、8月半ばには名古屋に行くことをお母さんともども心待ちにしていたと思います。8月のある夜、お母さんの携帯番号から私の携帯に電話が入りました。お母さんは保護者会の役員をしていたので、何か相談かなと思って電話に出てみると、聞き覚えのない若い男性の声。智子さんの弟の直樹さんからお母さんの突然の訃報を知らされたのでした。単身赴任をしていたお父さんが、毎朝毎晩お母さんとしていた定時電話がつながらないことを不審に思い、近所に住む智子さんの叔母に連絡、消防隊によってリビングで倒れているのを発見されたとのことでした。前日から体調不良を訴えていたそうですが、数日前まで送り迎えの際に冗談を言い合っていた私としては青天の霹靂でした。

一段落する間もなく、智子さんの今後の生活についてご家族と話し合いを持ちました。智子さんをよく知る者として、ご家族も我々支援者も施設入所は考えられませんでした。グループホームはどこもいっぱいです。宮仕えの辛さ、お父さんもすぐには仙台勤務に異動できそうもありません。『私が一緒に暮らします』という女性職員もいましたがまさか許可できませんし、第一根本的な解決にはなりません。そうして何度かの話し合いの中で、直樹さんが大きな決断をすることになります。智子さんと二人で自宅マンションで暮らすというのです。直樹さんが埼玉での仕事を退職し仙台に戻ってくるまでの間、智子さんは一時的に叔母さんの家に身を寄せました。その間に支援者は、『朝・夜のヘルパーの支援』『仙台つどいの家への送迎』『月に数回のレスパイト』など二人での新たな生活に向けた体制を整えました。あれから1年半、たくさんの支援を受けながら二人の生活は続いています。一卵性親子のようだったお母さんと智子さんの生活を引き継ぐのは容易ではなかったと思います。ましてや、若い直樹さんにとって家のことと新たな仕事環境との両立を図るのは並大抵の苦労ではないことと想像します。数年後にお父さんが定年を迎え自宅に戻る日まで、二人の生活は続きます。

あたりまえのことですが、利用者さんたちが年齢を重ねるということは、親御さんたちも同様に齢をとっていくということです。順番からすれば親が先に逝くのは自然の摂理です。

こんなあたりまえのこと、言い古されてきたこのことが、智子さんのお母さんや父の死を通して私の中でいっそう実感に変わってきています。今ここにいる45名の利用者さん、30代・40代・50代の利用者さんのこの先の生活をどうするのか、親御さんと一緒に真剣に考えていかなくてはならないと思うのです。

それから。残念ながら現在の我が国は、『しょうがいがあること』によって生じる『生きづらさ』や『支援や介護が必要な状況』を、本人や家族に責任があるものとして捉えているように思えてなりません。重いしょうがいのある人の親亡き後をしっかりと支えられる、成熟した社会に変えていく努力を、私たちは続けていかなければなりません。

(管理者 山口 収)

新職員・異動職員紹介☆ よろしくお願いま～す!

くるみ支援員

いけだ まさあき
池田 雅昭

★好きなこと・趣味

旅行！（どこか良い場所
あったら教えて下さい）

★好きな歌手・歌

佐野元春の「花束を君に」

★ひと言アピール

一緒に仲良く遊んでください！！



もみじ支援員（ぴぽっと南光台ぺんたすから）

やまぞえ さちこ
山添 幸子

★好きなこと・趣味

ドライブ！どこまでで
も行きます(^▽^)/

★好きな歌手・歌

TUBE が大好き！

★ひと言アピール

娘と同年の職員がたくさんいますが、頑張り
ます☆



決定！

平成29年度下半期

フォトコンテスト！！

仙台つどいの家では、以前お伝えした『にこりほっと・ぐっどさぼーと大賞』のほかに、半期毎に職員による『フォトコンテスト』を開催しています。各職員が活動中のとっておきの写真を一人3枚までエントリーして、『大賞』から『第3位』までを表彰します。エントリー数が多い時には『特別賞』なども用意され、各受賞者には素敵な（？）賞品が贈呈されます。職員にとっては賞品獲得の喜びもありますが、利用者さん本人・ご家族にとってはどんな作品が出されるのか、毎回楽しみにしてくれているようです。私にとっては、職員が利用者さんを多面的に見るトレーニングになるのではないかなあというのが、そもそもの始まりでした。正直、年度末・年度初にこれを作るのは大変なのですが、みんなの笑顔が見たくて、また頑張っちゃうのでした。そんなわけで、29年度下半期の作品をごらんください！（記：山口）



大賞！！『海とメロンソーダと望さん』



第2位！！『ミッキーのポーズ』



05/14/2018 19

仙台つどいの家の廊下にこんな感じで貼って
ありますよー！

～奈津子さん外食レポート～(不定期掲載♪)

本格フレンチを食べに行こう



4月24日に早川奈津子さん、加藤剛さんとで、岩沼にあるフレンチレストラン Cache-Cache(カシュカシュ)へフレンチのコース料理を食べに行きました。あいにくの雨でしたが、東北本線を使って岩沼へGO!! 電車が好きな剛さんは、電車の心地よい揺れを楽しんでいる様子でした。駅員さんに親切に案内して頂き、乗り換えもスムーズにできました。Cache-Cacheは岩沼駅から徒歩1分とアクセスしやすく、スロープがあって車椅子の方も入りやすかったです。



奈津子さんはメインにお魚をチョイス。4月のメニューは、前菜のサーモンの燻製、ポタージュスープ、白身魚のポワレ菜の花ソース、デザートのパルガモットのタルト ジンジャーアイス添え、パン、コーヒーor 紅茶でした。

奈津子さんは、特にサーモンとデザートに反応良く、手を上げて美味しそうに食べていました。剛さんもジンジャーアイスがお気に入り、味わって食べていました。税込2,500円で、とてもお得で大満足のお二人でした。

お洒落な雰囲気でお手頃価格で楽しめる、レストラン Cache-Cache おすすめです!! (記：佐藤唯)



「るーぷる仙台」に乗ろう!!



皆さん、仙台市内の観光スポットを循環する路線バス、「るーぷる仙台」をご存知ですか? 路面電車風のデザインがバスマニアの心を捉えて放さない、あの「るーぷる仙台」ですよ!!

4月某日、雨のそぼ降る中、その「るーぷる仙台」に、けやき・くるみのバス好きの利用者さんたちと乗ってきました。るーぷる仙台といえばバス好きの最高峰、山好きのエベレスト的な存在なので、乗る前から利用者さんたちもワクワクです。佐々木勝一さんや奥津欣也さんは、バスを待ち切れず、仙台駅前のバス乗り場を右に行ったり左に行ったりそわそわ忙しく、高橋邦明さんもお機嫌で、ベンチに座っていたご婦人にちょんちょんのご挨拶。そうこうしているうちにバスが到着。みんなでそろそろと乗車し、出発進行!! バスは観光客の方たちで混雑していましたが、利用者さんたちは満喫されていたようです。菊池愛子さんは外の景色を見てニコニコでしたし、岩佐美奈さんもバスの運転手さんに夢中で、アナウンスが流れる度に「運転手さん!!」と声を出して喜んでいました。利用者さんたちをこんなに楽しませる「るーぷる仙台」って奇跡ですね。

ここで川柳「るーぷるが みんなの笑顔 ループ(何度も繰り返す)する」。
今度は晴れた日に、乗ってみたいものですね。 (記：高根)





「感覚ミュージアム」に行ってきました♪



3月27日、けやきグループの岩佐美奈さん・尾崎有さん・高橋智子さん、もみじグループの東成児さん・永坂葵さんで、大崎市にある「感覚ミュージアム」に行ってきました。感覚ミュージアムは、視覚・聴覚・嗅覚・触覚といった、



私たちが持っている“五感”をテーマとするミュージアムです。始めに入った暗闇の部屋(闇の森)は、暗くて周りが見えず、闇の中の手すりにつかまってドキドキしながらゆっくりと進みます。次に壁や床を触ると青く光る部屋に入り、何度も壁などを触って光る感触を感じていました。その先は床や壁が鏡張りの部屋(エアートラバース)で、入った瞬間に自分の姿が鏡にたくさん映ったり鏡に空が映り込んでいて、空中を歩いているような浮遊感を体験することが出来ました。床に張られた水がゆるやかに揺れる部屋(ウォーターガーデン)に入ると、波紋が壁や天井に映って水の中にいるように感じ、周りを見渡しながらとても不思議な感覚になっていました。感覚ミュージアムは見る、聞く、触れる、嗅ぐといった体験により、感覚を意識することのできる展示がいっぱいで、美奈さん、智子さん、有さんは光や映像などの『見える物』で気持ちがワクワク、東さんと葵さんは『香りや触る物』で気持ちがドキドキしていました。ミュージアム内の様々な体験を通して、楽しみながら想像力を高めることができたと思います。これからも日々の活動で五感を刺激するような楽しいことをやっていきたいと思います。皆さんはどんな刺激を楽しみたいですか？

(記：佐藤和)

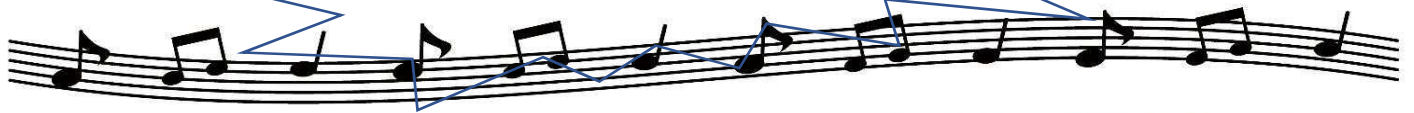


❀電車で一目千本桜を見に行きましたよ～❀

4月9日にさんしょグループで大河原町の一目千本桜を見に行きました。東仙台駅から電車に乗って、仙台駅で乗り換えて大河原駅までのルートです。初めて電車に乗る利用者さん。最初はドキドキ緊張していた様子でしたが、慣れてきたのか列車内から見える景色をキョロキョロ眺めてニヤッと笑い嬉しそうな様子。千本桜が見える場所まで来ると、電車がゆっくり進み車内からじっくり桜を見ることができました。事前に駅員さんにも連絡していたため、駅構内での誘導もスムーズ。乗り換え用のスロープも準備して頂き、サービスの高さに大満足でした。記念撮影にも快く応じて頂き、とても良い記念になりました。お花見会場に到着すると、河原に大きなブルーシートを広げてみんなでリラックス。すぐにご飯を食べ、写真撮影。帰りの電車の時間もあり、バタバタと戻って来ました。慌ただしい一日でしたが、いつもと違う角度から見る桜も風情があって良いですね。来年はどこにお花見に行きましようか？(記：櫻井)

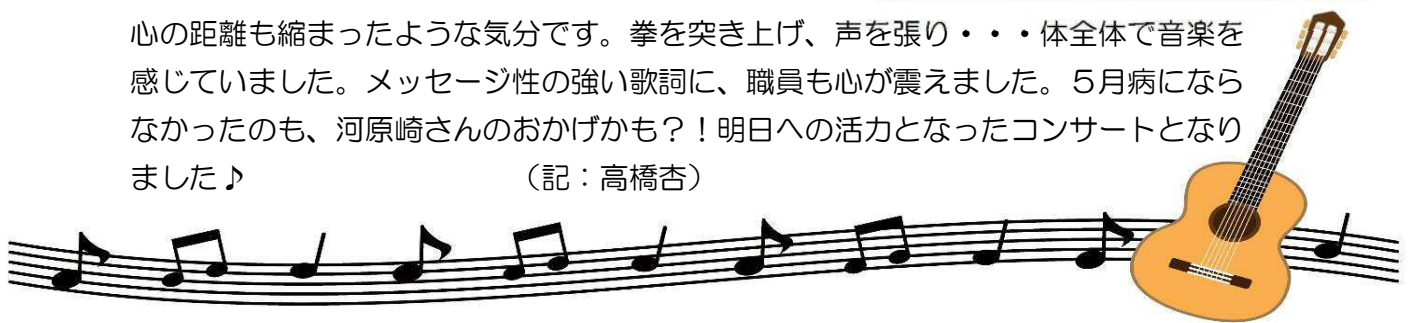


魂震えるコンサート！



夏に向けて暑くなり始めた5月初旬、暑さに負けない熱いコンサートが開催されました！ギター1本で歌い上げる河原崎辰也さん。インディーズチャートにランクインしたこともある実力派シンガーです。「Wow Wow」「イエイ イエイ」という掛け声に最初は戸惑っていた利用者さんも、その魂の歌声にテンションMAXに！さながらライブハウスのような熱気に包まれていきました。MCでは冗談を交えながら笑わせ、心の距離も縮まったような気分です。拳を突き上げ、声を張り・・・体全体で音楽を感じていました。メッセージ性の強い歌詞に、職員も心が震えました。5月病にならなかったのも、河原崎さんのおかげかも？！明日への活力となったコンサートとなりました♪

（記：高橋杏）



権利擁護内部研修

3月27日に「グレーと思う支援について」をテーマに、権利擁護委員会主催の内部研修を行いました。

A・Bグループに分かれ、職員一人一人が日常的に支援していて思うことについて話し合いました。両グループともに多く挙がったのがプライバシーの問題。『排せつの状況をホワイトボードに記号で記録しているが自分が利用者さんの立場だったらどう思うのか』とか、『引継ぎにしても他の人の前でトイレの話をするのは不快だと思う』といった意見が出ました。また、ロッカーやカバンを声掛けなしに開けてしまうことがあり、プライバシーに配慮ができていなかったと気づかされたという声も上がりました。

利用者さんの支援全般を通して大切なことは『本人の意思の尊重と支援者の関りのバランス』なのではないのかといった意見の出たグループもありました。

改めて日頃自分たちが行なっている支援について振り返る機会を持ち、今後に向けて深く考える場になりました。これで終わりではなく、今後も職員みんなで考える機会を作りたいと感じた研修でした。

（記：志藤）

記念すべき第1回は…

た な か な な み

田中七海さん



田中七海さんをひとことと言うと「頑張り屋さん」です。今、七海さんが頑張っていることを2つ紹介したいと思います！！

1つめはパン工房のお仕事。朝1番に工房にきて職員が何も言わなくても自分から仕事を見つけて取り組みます。毎日の当番表を見てパンの焼き上げの仕事やショップの準備、パンの生地を作る仕事をしています。七海さんは周りをよくみているので「今日はこの仕事ですよ」と他の人に声をかけたり、他の人の仕事で必要なものがあると道具を準備してくれます。パン工房の仕事をやりたくないと言ったことは一度もなく、毎日楽しそうにお仕事をする七海さんを見ていると、周りの人も今日もお仕事を頑張りようという気持ちにさせてくれます。

2つめはエアロビです。健康面での課題もあり楽しく運動できる機会があったら…ということで去年の12月から岩切市民センターで行われているエアロビサークルに月2～3回参加しています。もともと音楽が大好きな七海さんは、音楽がかかった瞬間に笑顔になります！音楽にあわせてタッチやステップ。とてもはやくて難しい動きもあるのですが、七海さんはノリノリでリズムに合わせて踊り汗を流しています！！サークルのみなさんも温かく七海さんに声をかけてくださり、毎回参加するのが楽しみです。

七海さんは今年、仙台つどいに来て3年目になります。これからもたくさん楽しいことを一緒に見つけていきたいなと思います。

(記：高野)



[職員コラム]

今回は～！ぴぼっと南光台から異動してきた山添 さちこ 幸子さんです！！



仙台を拠点に活動する女子プロレス団体「仙女」こと仙台ガールズプロレスリングには、現在8名の所属選手がいます。その中に去年7月「愛海(まなみ)」のリングネームでプロレスラーとしてデビューしたのが、私の娘です。娘は、小1でピアノ、小3でドラムを習い始め、音楽が好きな子なのかな～と思っていたら、小5になる頃、突然「プロレスをやってみたい」と言い出しました。仙女サークルに週1回通い始め、学校よりも楽しいと言って道場に入り浸り、中学生になってすぐプロデビューの話が持ち上がりました。7月にはジャガー横田さんと戦い、自分の夢を叶えました。現在中学2年生で、学校とプロレスを両立して頑張っている娘の試合を見ると「私も仕事頑張りよう！」と思う今日この頃です。





スケジュール schedule

- 6月 4日(月) 健康診断
 6日(水) アロマゆるっと①
 7日(木) 1級・準常勤研修①・生け花①
 8日(金) ふれあいセール・無線訓練
 11日(月) チーフ会議・イエローレシート
 14日(木) 音楽療法①
 18日(月) 防災訓練・職員会議
 20日(水) 施設懇談会
 ケース会議 13:30 降所
 21日(木) 内部研修①・生け花②
 24日(日) 職員採用試験①
 27日(水) アロマゆるっと②
 28日(木) 音楽療法②
 29日(金) 医療的ケア安全委員会
 30日(土) 非常勤研修
- 7月 5日(木) 5・6級研修
 9日(月) ふれあいセール
 10日(火) チーフ会議
 11日(水) イエローレシート
 12日(木) 音楽療法①
 17日(火) 職員会議
 19日(木) 音楽療法②
 20日(金) 施設懇談会
 26日(木) 法人全体研修
 30日(月) ケース会議 13:30 降所

ご協力ありがとうございます

ボランティアとして協力して頂いた皆様

(3月15日～5月14日まで)

吉田さん、シルビアさん、寺元さん、正司さん、京子さん

見学・来訪者など

生け花(濱谷さん)、音楽療法(向井田さん・菊池さん)、アロマゆるっと、宮城学院女子大学(木村さん)、あおぞら診療所(田中先生)、よつ葉の会(名古屋市)、ぽけっとぴーす(寒河江市)、ぽけっとの会、エマヌエルの会、宮城教育大学(菅井先生)、藤田保健衛生大学(倉橋先生・大江先生)、テーナ(藤本さん)、ブルーム(水沼さん)、日本環境衛生研究会、渋谷クリエイティングスタジオ、フォレスト(中嶋さん)、訪問調査センター(阿部さん)、マルゼン、東京サラヤ、今庄青果、マルキ水産、マルイ、サトー商会、鈴木米穀、ダスキン、大気堂(太田さん)、ニッサンサティオ宮城(村上さん)、ホシザキ東北、日本テクノ(安田さん)、セトヤサプライ、生活サポート(田中さん)、(株)ナスキー(高橋さん)、三浦さん、淡路穂香さん

法人職員：理事長、児玉、檜山、後藤、加藤(彩)、大累、高杉、小原、靖志、佐藤(秋) 他多数

(以上、ご芳名順不同)

缶回収

4月の納品額

合計 3,190 円でした。

ご協力有難うございました。



編集後記

今年は例年より気温が高く、過ごしやすい日が多いですね。その分寒暖の差も激しく体調管理がとても難しいですが…。私は“病は気から”ということで心のリフレッシュ日を月に数回設けています。旅行へ行ったり、美味しい料理を食べに行ったり…楽しい時間を過ごすと「よし!また明日から頑張ろう」という気持ちになります。皆さんは休日をどのように過ごしますか? 休日に少し遠出をして、心に溜まったものを吐き出して気持ちを軽くしてお仕事頑張りましょう(^^^)/ (記: 今川)

